

(事業報告書)

特定非営利活動法人 冀北の杜

2020年度 事業報告書

1 運営状況・事業成果

- (1) 今年度は、新型コロナ感染拡大で、100年ぶりの世界パンデミックとなり、当事業所も大変困惑し精神的に厳しい日々であった。利用者や職員、そして保護者らへの感染が無かったことは不幸中の幸いであった。休業もしなかった。マスクや消毒液探しや、仕方なく始めたマスク自主縫製が工賃になったりした。国からの職員一人ずつの支援金や、空気清浄機はじめ、コロナ禍における国からの助成金もあった特殊な年度となった。
- (2) 障害者就労継続支援（B型）事業所開設し5年が経過しが、お陰様で、コロナ禍でも事業は拡大運営となった。18人の利用者登録で、一日平均13.1人（前年度12,3人）が利用される事業所になった。
- (3) 施設長の交代があった。設立以来ご尽力いただいた空岡施設長が10月からサービス管理者のみとなり、3月に職員にお迎えした伊藤指導員が施設長に就任頂く。また、12月には常勤職員の加入や、翌年からは常勤へという職員があり、2021年度からは常勤3人、非常勤6人体制が組める布石の年となった。
- (4) コロナ禍で、工場発注の軽作業（内職）が少ない時期があり、仕事の多様化を図った。恵まれたことに、オール静岡様からご紹介でコンビニ店舗の窓ふきの仕事、またある団体からトイレ洗面所の清掃、近隣工場からシュレッターの仕事やゴミの分別仕事等が始められたことで、施設外就労の仕事の充実が図られた。施設長の経験から網戸の張替えも仕事として成り立った。
- (5) 地域のプラットフォームとしての機能を有する障がい者就労事業所として位置づけられるよう、地域に開かれた障がい者福祉活動を展開したいという気持ちでいるが、有機栽培農場へオクラやブロッコリー収穫の仕事、地域ボランティアと共に製薬工場の敷地内環境美化活動等の今までの活動に留まらず、工場内除草の仕事は2か所も増加した。お茶の実収穫に今年も取り組んだが、ジャンプーにペンタスの収穫量は全て使用するという企業も現れて、大いに励まされている。大麦を植えてみないかと言われる研究者と地域の支援者と12月に種まきをしたことも。ただ、今年度は大型の新東名高架下の除草活動はなかった。
- (6) 市民協働で4作目の絵本を創作したがお披露目読み聞かせのイベントは残念ながらコロナで中止となった。寄贈先は、県立掛川支援学校の全生徒で、8月にお届けした。5作目は実施できず。
- (7) オーガニックコットンを栽培して訪日外国人向けの浴衣を商品化したが、パンデミックで外国人は来日せず、オリンピックも中止、ならば手ぬぐいにして障がい者アート手ぬぐいを皆様へお届けすることにした。3種類150枚染めたが、ほぼ完売した。3月からはコットンのワークショップを開催し、参加費が工賃となる仕組みを考えた。
- (8) 工賃は、依然低いが、努力しているのは見える。1人当たり活動実数を基に計算すれば11,103円、登録実人数で計算すると8266円、昨年をわずかに上回った。（個人額では2000円～17,000円/月ほど）障がい者年金1級の方が30%以上の当事業所は、重度加算25%を得た。事業所の責務である工賃収入の維持に、コロナ禍であってもこの一年務めることができたと思う。

- (9) 設立当初の借入金の500万円中、今年も100万円を返済できた。寄付も頂く見込みがあり、借入金の残金は次年度には250万円になる見込み。次年度も定期的に返済したいと考えている。
- (10) 4月に利用者2人によるトラブルがあり、しりもち打撲という事案があった。しりもちを打った利用者は、そのもとをつくった者の保護者に謝罪を求め協議を重ね、その後お許しを頂いたが、被害者となった利用者は退所した。トラブルは残念だったため、利用者の障害について深く調査をした。この事案の解決には市役所、相談事業所、双方家族を交えて、6月まで費やした。その他の利用者は元気で通える。また保護者様の支援も大きく、そして当事業所に大変理解があることに助けられている。末尾で恐縮だが、保護者に恵まれていること、地域の皆様のご協力やご理解が非常に深いことをお伝えする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障がい者福祉サービス事業	B型支援所運営 ・5年目の活動 ・前年度12.4人から今年は13.4人の就労状況となった。18人登録。 工賃も2000円～17000円/月、平均8266円で増となった。 ・仕事は以下の通り マスク・こぎん刺し等小物縫製、部品内職、網戸張替え、施設外就労(定期的工場内除草・野菜収穫、茶の実出荷、コンビニ窓ふき、ビル内トイレ委清掃等)ハブ茶やコットンの栽培、掛川茶販売用シール貼り	令和2年4月1日～令和3年3月31日	事業事務所内ホール他及び施設外就労各場所	常勤 2人→3人 非常勤 5人→6人	利用者 毎日通者 12人 週1～3日 通所者 5人 長期休職者 1人 年平均 13.4人 延べ 3424人 活動日数 261日	23,888 千円
	■広報誌・HP更新	随時	事務所	職員	不特定多数	3,6 千円

社会や組織 に対等な関 係性で交わ ることが出 来る人材育 成をするイ ンクルージ ョンな能力 開花事業	「絵本は愛情ホルモン・優しい心のバトンをつなぐ」事業 4作目の展開。 寄贈は出来たが、お披露目イベントはコロナで中止した。 5作目の創作絵本づくりは行えなかった。					0千円
地域の高齢 者や更生保 護が必要な 青少年等と 障がい者が 関わるまち づくり事業	地域との協働 ・ボランティアを募り、市の委託事業の草刈りや民間工場の草刈り活動の受託など	～ 3月	① 民間工場 ② 2か所目の民間工場	ボランテ ィア5人	事業委託者	400千円

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他、この法人の目的を達成させる為に必要な事業	① 安全安心な事業所であるため 感染症予防対策、畳をフローリングに改良、及び机・椅子整備	～ 2 年 3 月	事業所	1人	利用者・職員	1,000千円
	② オーガニックコットンプロジェクト。利用者デザインの手ぬぐい染色、ワークショップ実施		事業所 浜松、磐田、 掛川市内 協力事業所 参加市民	1人と協力者	利用者及び参加者ほか	10千円